



3.10

平成29年(2017年)
月2回(10日・25日)発行

広報

たちかわ

市民と市政のつながりを“わ”で表しています

ホームページ ● <http://www.city.tachikawa.lg.jp/>
ツイッター (@tachikawa_tokyo) ● https://twitter.com/tachikawa_tokyo
動画チャンネル (YouTube) ● <https://www.youtube.com/user/TokyoTachikawa>

【今号の主な内容】

- 2面 子育て支援事業の活用を
- 3面 市民税・都民税 所得税の手続きをお忘れなく
- 4面 市政・くらしの情報 / 臨時休日窓口を開設
- 5面 高齢期をいきいきと
- 6・7面 Let's チャレンジ 生ごみダイエット
- 8・9面 スポーツ / 健康 / 市民伝言板
- 10・11面 講座 / 子ども・子育て / 募集 / 催し / お知らせ
- 12面 春、桜を見に行こう

発行 / 立川市 編集 / 総合政策部広報課
立川市役所 〒190-8666 立川市泉町1156-9
Tel 042(523)2111 (代表) Fax 042(521)2653

私たちが今すべきこと



2人に1人は準備不足

東日本大震災から3月11日で6年がたちます。4月14日には熊本地震から1年がたちます。決して忘れてはいけない災害であり、それを教訓とする私たちの意識が求められています。統計によると災害に備えて非常用食糧の用意をしている人は2人に1人、20代ではさらに半分の4人に1人でした。いざというときのために各ご家庭での準備をお願いします。

固防災課・内線2535

写真提供：岩手県宮古市

学校給食による集団食中毒

再発防止に向けて

今回の学校給食が原因の集団食中毒について、つらい思いをさせてしまった児童の皆さん、多大なるご心配をおかけした保護者をはじめとする市民、関係者の皆さんに、市長として心からのお詫びを申し上げます。

検査の結果、原因となった食材は判明しましたが、このようなことが二度と発生することのないよう、専門家で構成する「学校給食共同調理場における食中毒再発防止対策検討委員会」において検討いただき、万全の体制を整えてまいります。

市民の皆さんの信頼回復に向け、私を先頭に関係職員一丸となって邁進してまいります。

立川市長 清水 庄平

原因と対策をお知らせします

●経過の概要

2月17日、九小、十小、けやき台小、南砂小、若葉小、松中小、新生小で、学校給食に起因する集団食中毒が発生し、2月24日の時点で嘔吐等の症状が現れた児童と教職員は1098人となりました(本件に起因しないものも含む)。この7校には学校給食共同調理場から同じ献立の給食を提供しており、東京都多摩立川保健所が食材や調理員、児童などの検便について調査を行った結果、今回の集団食中毒はノロウイルスによるものであり、原因となる食材は2月16日の献立の親子丼に使用した「キザミのり」であったということが分かりました。なお、この「キザミのり」は製造者が自主回収を行っています。

●今後の対応

市は都の調査結果を受けて、児童の安全を最優先に考え以下の対応を行っています▼学校給食共同調理場から提供している小学校全13校の給食を3月末まで停止する▼学識経験者や専門家による「学校給食共同調理場における食中毒再発防止対策検討委員会」を設置し再発防止策を検討する▼再発防止策がまとまるまでの間、市が所管する学校、保育園、学童保育所、児童館等での「のり」の使用を停止する▼市全体で情報を共有し、対策を講じていく▼学校で引き続き児童の体調管理や心のケアを進める。

なお、今後の経過については市ホームページ、「広報たちかわ」でお知らせしていきます。

問 学校給食課管理係・内線 6812